



「第2回ドローンプログラミングチャレンジ全国大会 i n 白浜」に出場！

2月1日（土）、2日（日）、**「第2回ドローンプログラミングチャレンジ全国大会 i n 白浜」**が開催され、本校普通科2年生の川端陽飛さん、伊藤友星さん、岡潤弥さんが出場しました。小型ドローンをプログラミングで操縦し、設定されたミッションをクリアしていく大会です。結果は目標には届きませんでしたが、ドローン操縦の難しさやプログラミングの楽しさを実感し、とても貴重な経験をすることができました。用いたドローンは本校でも複数台購入していますので、興味のある方は数学科・有田先生まで申し出てください。



競技中（向陽）の写真



向陽防災科学講座（和医薬）を実施しました！



2月7日（金）、普通科1年生を対象に**「向陽防災科学講座」**を実施しました。和歌山県立医科大学薬学部の土井光則先生にご来校いただき、**「災害医療と薬剤師」**と題してご講演いただきました。和歌山県立医科大学薬学部の「災害薬学」という特色的な講座のお話や能登半島地震において被災した石川県珠洲市でのD-MATとして活動、「薬剤師」＝「薬」だけではなく「環境衛生」の視点も大事であること、南海トラフ地震への備え等、たくさんのトピックについてご講演いただきました。以下、生徒の感想です。「薬剤師＝薬のイメージが強かったけれど、薬だけではなく、環境衛生などの活動もたくさん行っていると初めて知りました。」「メディアでは報道されないような実際の被災地のようすを動画で見せていただき、改めて災害が恐ろしいものだと感じた。」「日本にいる以上、地震は避けられないから共存しなければならないという先生の言葉に納得した。」「災害のことや薬学について理解することができてとてもよかったです。」「今日学んだことを生かし、家族とたくさん話し合い、災害に備えようと思いました。」



科学英語講演（環境科学科1年生）を実施しました！

2月7日（金）、カメルーン出身で神戸大学博士研究員のAristide MOKALE先生と神戸大学修士課程の河原壮太さんをお招きして**「科学英語講演」**を行いました。Mokale先生には講師を務めて頂き、「The Power of Microbes : Understanding Microbial life & Its Applications（微生物の力：微生物による生命活動とその応用）」という題目で講演して頂きました。また、河原さんには適宜日本語で解説して頂きました。最初に、Mokale先生の出身国であるカメルーンとその文化について話してくれました。生徒らは特にカメルーン料理について「どうやって作るの？」など積極的に質問していました。後半は、微生物の基本的な特性と生活への応用例について話して下さいました。英語で理解するには少し難しい内容でしたが、理解度を測るクイズではほぼ正当でした。



以下、生徒の感想です。「事前に見ていた参考資料の内容がとても興味深くて、今日の講義がすごく楽しみでした。英語が得意でないので内容を完璧に理解することは出来ませんでしたが、興味深い実験をしていてこれからの社会に必要不可欠ものだということが分かりました。自分でも調べてみようと思いました。ありがとうございました!」「先生と交流する時間も設けてくれていたのは嬉しかった。生物以外にも、みんなそれぞれ気になる分野の人の話が今後聞けたらいいなと思う。」「カメルーンの文化と微生物の働きを学べた。有害な化学物質を分解する働きを持つ微生物がいることなど、多くのことを学べた。語彙がなく内容が分からなかったところがいくつかあったので、英語の勉強を頑張ろうと思った。」「科学者になる利点を教えてくださったので自分もなりたと思いました。」「国の文化などの紹介もあって面白かった。英語と生物が組み合わせられているから、集中して聞くことが出来たし、



より理解を深めることができた。」



より理解を深めることができた。」